



笑顔で“できる”

令和7年4月17日 第2号
長浦小学校 校長 丸山朋子

ご入学 おめでとうございます。

4月9日(水)

育友会会長様、副会長様、琴海中学校の校長先生をはじめ、保護者の皆様、地域の皆様に見守っていただき、全校児童が参加して入学式を行いました。

今年の1年生は9名。保護者、ご家族と一緒にピカピカのランドセルをしょって、長浦小学校にやってきました。

誰もが一生に一度だけ経験する小学校への入学。

○年前の皆さんの入学式はいかがでしたか？
六年生がとっても大人に見えて…。

机やいすが大きく見えて、高学年になってみると、こんなに小さかったんだ…と、発見したり。

私たちの時のランドセルは、赤か黒だけやったよねと、話に花が咲くことも…。(年代別話題?)

目立つところ、目立たないところ

さすが先輩たち!

式場の設営や後片付けなど、様々な作業は高学年を中心に子どもたちが活躍しました。

作業を繰り返すほどに、手順やコツを身に付け短時間で「できる」ようになる様子があります。

また、それぞれの作業には「何のために」という目的意識が大切ですが、言うまでもなく「1年生の大切な式のために」という先輩としての温かい気持ちが感じられました。

加えて、6年生は、学校にやってきた1年生を教室へ誘導したり、式中の所作、返事の仕方などを教えてくれました。さらに、式辞の中で、突然、6年生の西村結羽さんと福江貫太郎さんに「返事と挨拶」のお手本を求めたところ、さすが6年生。誠実さが表れた立派な「返事と挨拶」で、期待に応えました。



そして、今になってみると、あの時、父は、母は、こんな気持ちだったんだと気づいて、改めて感謝したり…。わたしたちは、子どもたちの姿をとおして、学び直しをしていくのでしょうか。

さて、新1年生は、勇気を出して、新たな1歩を踏み出しました。強くたくましく成長してくれることを願います。

皆様、黄色い帽子とランドセルカバーが1年生の目印です。どうか、温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。



一方、2年生は、出し物を披露する場面で、お祝いの言葉を言いました。先生の助けを借りず、自分たちで協力して責任を果たす姿に、成長を感じました。

ここで、「ちょっといい話」をご紹介します。今年から2年生と同じ教室で過ごす3年生は、代表で言葉を述べる2年生を勇気づけるため、式前の練習で「ミッション」を実行したとか…。それは、ミッションと気づかれにくい自然に、2年生をたくさんほめようというものの…。もちろんミッションは大成功!!

教室では、子ども同士の素敵なつながりがふきのとうのように芽吹いています。

さて、明日18日は、子どもたちお待ちかねの「歓迎集会・遠足」です。楽しい1日でありますように。